

## 1. 教育計画

## 在宅看護論

分野	統合分野 在宅看護論	科目名	在宅看護活動論Ⅰ
単位・時間	1単位・15時間（授業14時間）	対象学年	2年生
方法	講義	時期	後期
講師名（担当時間数）	法人講師 戸崎 亜紀子 （4） 法人講師 後藤 梢恵 （2） 法人講師 渡辺 富士子 （2） 法人講師 高橋 敏恵 （2） 法人講師 鈴木 春菜 （2） 法人講師 菊地 恵 （2）		
学習目標	1. 在宅看護の内容と制度を理解する 2. 在宅看護に関連する他職種の役割とサービス内容について理解する		
成績評価方法	筆記試験（他、出席・態度面も考慮する）		
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 メディカ出版：ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア		
参考文献	資料は随時配布する		
履修上の留意	1年次履修の在宅看護概論を復習し、講義に臨む		
講師からのメッセージ	少子高齢社会の中、病院機能分化の推進が図られる現代において、看護師の活躍の場は病院だけでなく、地域へと広がっています。在宅では様々な機材の管理や看護技術が必要となります。1つ1つ興味をもって学習に取り組んでいきましょう！		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当
1	2	在宅看護とは 在宅看護の機能と特性 訪問看護ステーションとは	在宅の意義 施設内看護と在宅看護の違い 活動における基本的態度・責任 家族への関わり 訪問看護ステーションの位置づけ・制度	講義	戸崎
2	2	在宅における看護過程	訪問看護過程 他職種との連携・チームアプローチ	講義	戸崎
3	2	在宅看護における看護技術（在宅酸素療法）	在宅における生活支援の方法と技術 在宅高度医療管理と看護 ①	講義	後藤
4	2	在宅看護における看護技術（褥瘡）	在宅における生活支援の方法と技術 在宅高度医療管理と看護 ②	講義	渡辺
5	2	在宅看護における看護技術 (輸液とカテーテルの管理)	在宅における生活支援の方法と技術 在宅高度医療管理と看護 ③	講義	高橋

回	時間	主題	授業内容	形態	担当
6	2	在宅看護における 看護技術 (在宅ターミナルケア)	在宅における生活支援の方法と技術 在宅高度医療管理と看護 ④		鈴木
7	2	在宅療養者の ケアマネジメント	ケアマネジャーの役割 活動の実際	講義	菊地
8	2	評価	筆記試験		